

Soliton SecureDesktop

はじめにお読みください

管理者が最初に確認するマニュアルです

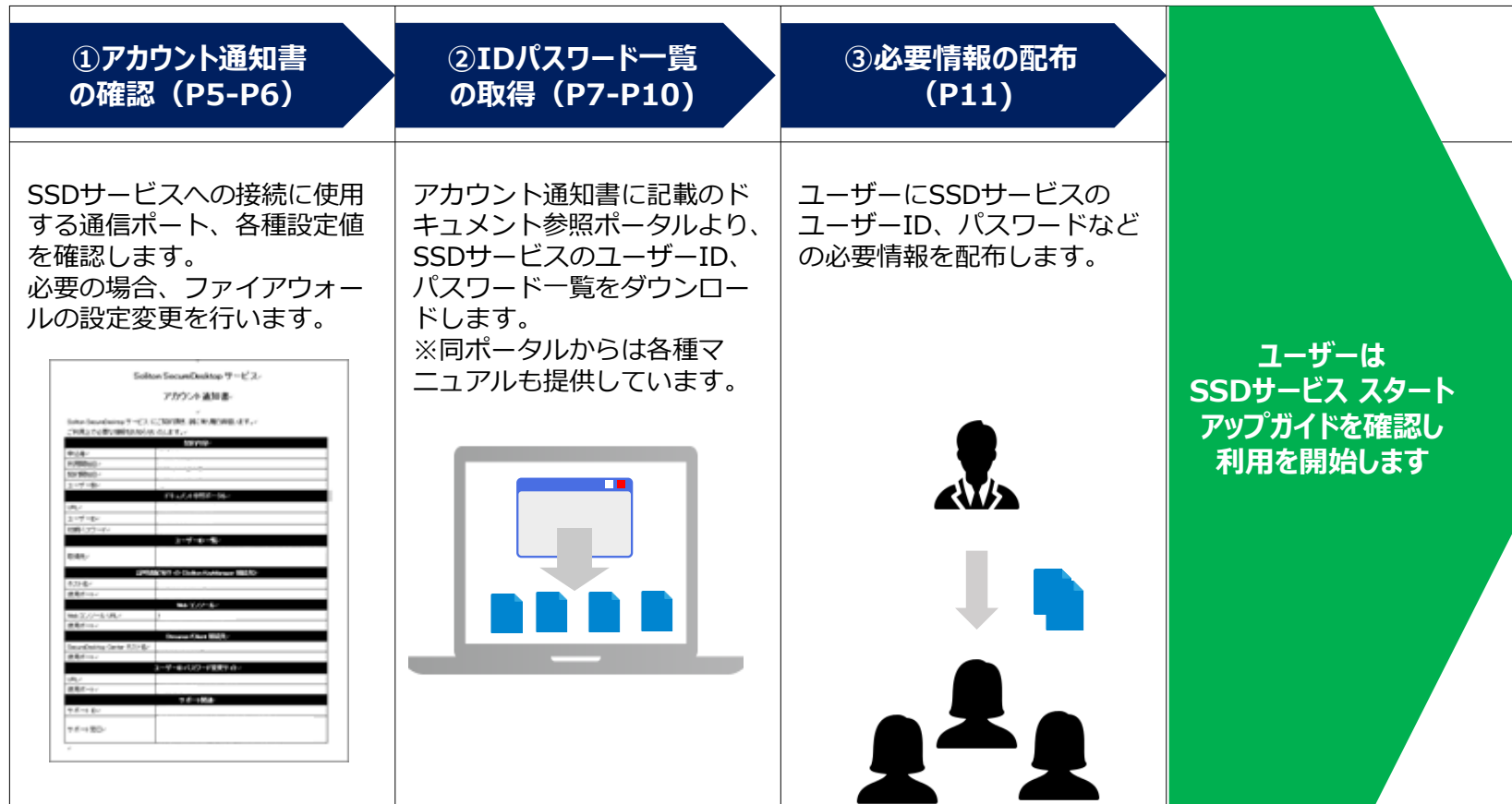
Soliton SecureDesktop は、株式会社ソリトンシステムズの登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中に ™、®、©は明記していません。

利用開始までの流れ

Soliton SecureDesktop (SSD) サービスを利用するには以下の作業が必要です。



①アカウント通知書の確認

①アカウント通知書の確認

この通知書は、お客様がSSDサービスをご利用する際に必要となる利用条件、関連マニュアル、必要なIDなどのダウンロードサイト情報などをまとめたものです。

Soliton SecureDesktop サービス	
アカウント通知書	
Soliton SecureDesktop サービス にご契約頂き、誠にありがとうございます。 ご利用上で必要な情報もお知らせいたします。	
契約内容	
申込者	
利用開始日	
契約開始日	
ユーザー数	
ドキュメントダウンロード	
URL	
ユーザーID	
初期パスワード	
ユーザーID一覧	
取得先	
証明書ダウンロード (Soliton Key Manager 推奨)	
ホスト名	
使用ポート	
Web コンソール	
Web コンソール URL	
使用ポート	
Streamer/Client 推奨先	
SecureDesktop Center ホスト名	sdcl.soliton-ods.jp
使用ポート	443/8443(TCP)
ユーザーID パスワード 検索サイト	
URL	
使用ポート	
サポート関連	
サポート ID	
サポート窓口	株式会社ソリトンシステムズ クラウド サービスサポート 問い合わせ先 https://www.soliton.co.jp/support/contact/kam_ccloud.php 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝祭日、12/29~1/4 休載)

①アカウント通知書の項目

アカウント通知書には下記項目と内容が記載されています。

【ドキュメント参照ポータル】

利用者アカウントのユーザーID一覧、サービスマニュアル等を提供するWEBサイトのURLとログインアカウント情報です。

【ユーザーID一覧】

ユーザーID一覧の取得先フォルダの情報です。

【証明書配布サイト（Soliton KeyManager接続先）】

Soliton KeyManager（証明書取得アプリ）にて接続先として指定する証明書配布サイトのホスト名と、通信に使用するポート番号です。

【Webコンソール】

SSDサービスの情報提供画面のURLと、通信に使用するポート番号です。

【ストリーマー /クライアント接続先】

Splashtop streamer（接続先アプリ）、SecureDesktop Client（接続元アプリ）にて接続先として指定するSecureDesktop Centerのホスト名と、通信に使用するポート番号です。

【ユーザーID パスワード変更サイト】

利用者アカウントのユーザーID、パスワードを変更するサイトのURLと、通信に使用するポート番号です。

①アカウント通知書の確認

インターネットへの経路にファイアウォールがある場合、以下の通信ができるように設定してください。

通信元	通信先	通信ポート
リモート接続先PC (オフィスPC)	証明書配布サイト (Soliton KeyManager接続先)	80/tcp 443/tcp 8443/tcp
リモート接続先PC (オフィスPC)	下記FAQ参照 https://faq1.soliton.co.jp/faq/show/10449	
接続元端末 (リモートワークPC)	証明書配布サイト (Soliton KeyManager接続先)	80/tcp 443/tcp 8443/tcp
接続元端末 (リモートワークPC)	下記FAQ参照 https://faq1.soliton.co.jp/faq/show/10449	
接続元端末 (リモートワークPC)	ユーザーID パスワード変更サイト ホスト名	443/tcp
接続元端末 (リモートワークPC)	Webコンソール ホスト名	443/tcp

②IDパスワード一覧の取得

②IDパスワード一覧の取得

1. ドキュメント参照ポータル(URL)にブラウザでアクセスし、ログインします。



■ユーザーID

■パスワード

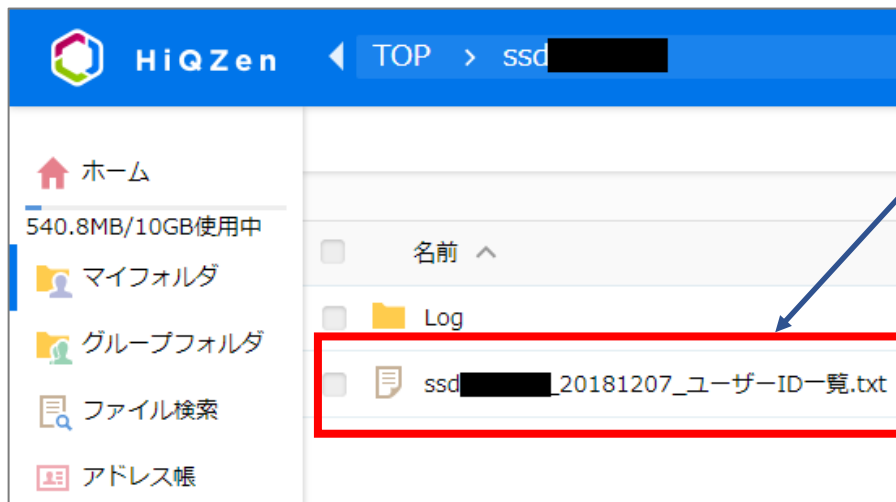
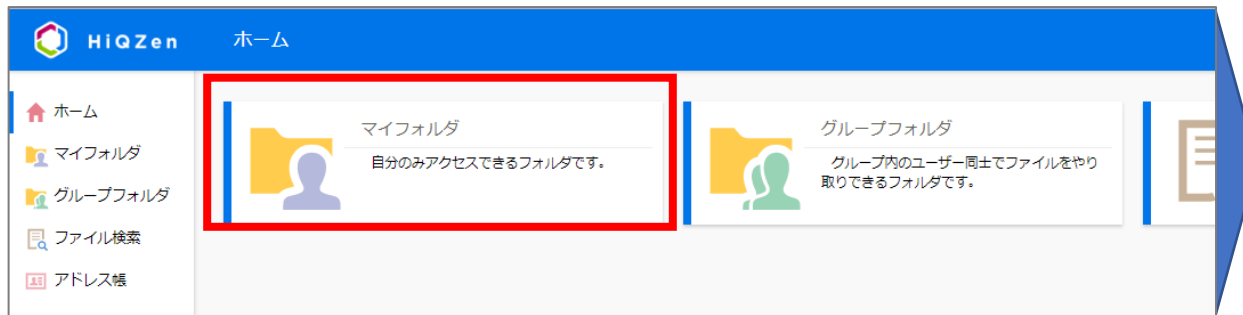
ログイン

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

ドキュメント参照ポータル (<https://www.hiqzen.jp>) にアクセスし、アカウント通知書に記載のユーザーID、初期パスワードを入力してログインします。

②IDパスワード一覧の取得

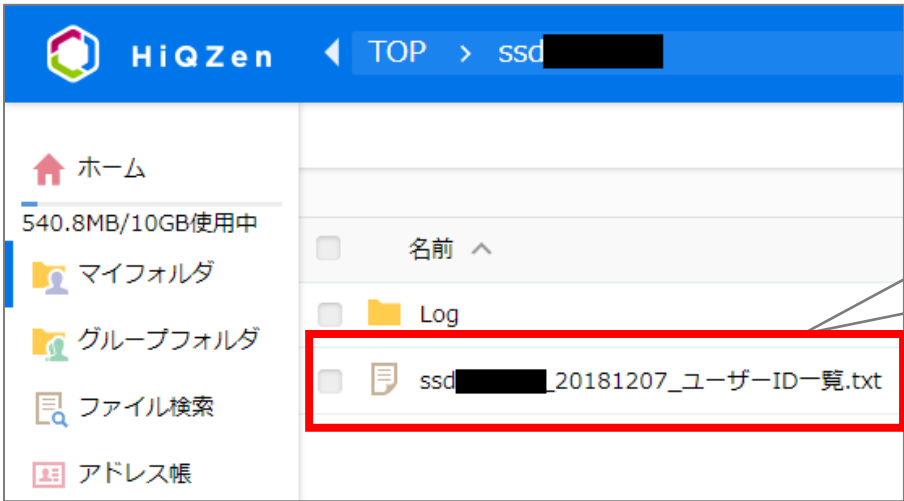
2. ログイン後にホーム画面が表示されます。<マイフォルダ>をクリックし、ユーザーID一覧をダウンロードします。



ファイル名は以下の形式です。
(サービスID) (日付) ユーザーID一覧.txt

②IDパスワード一覧の取得

3. ダウンロードしたユーザーID一覧を開き、内容を確認します。



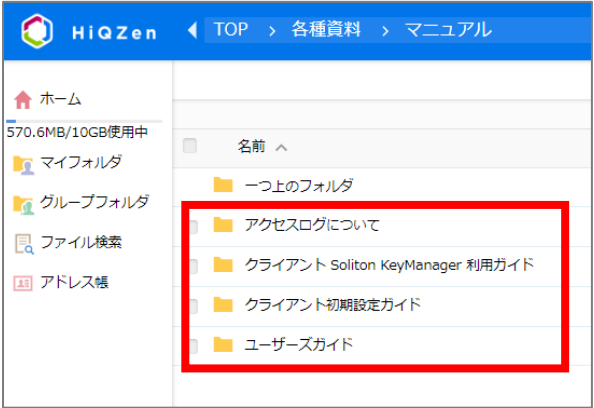
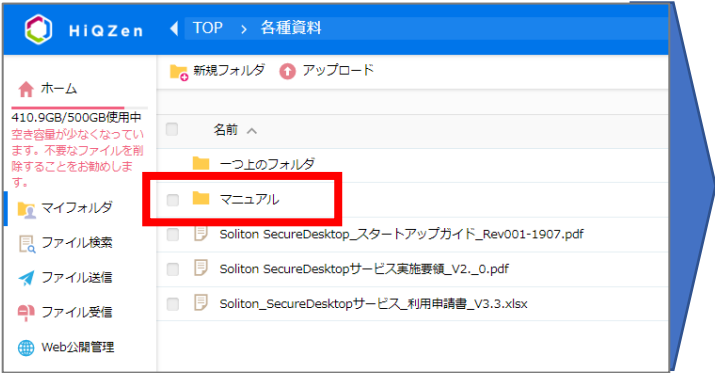
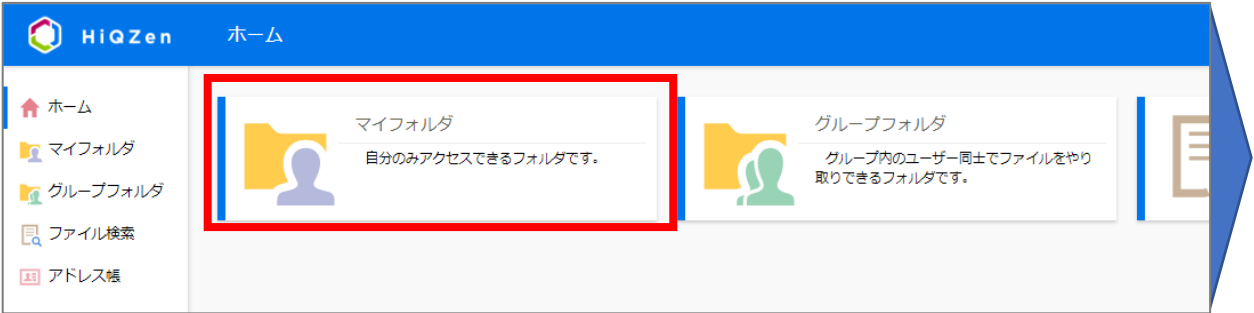
ユーザー名	初期パスワード
000001@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000002@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000003@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000004@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000005@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000006@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000007@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000008@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000009@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789
000010@ssd-100-XXX.soliton-ods.jp	123456789

「ユーザー名」列の文字列を「SSDサービスのユーザーID」としてユーザーに提供してください。
※初期パスワードは利用者側で変更できます。

②IDパスワード一覧の取得

4. ドキュメント参照ポータル内の「グループフォルダ」から各種マニュアルを入手できます。

グループフォルダ内の、各種資料>マニュアル フォルダを参照してください。



③ 必要情報の配布

③ 必要情報の配布

各ユーザーに以下の情報を提供し、スタートアップガイドに記載の手順を行うよう指示します。

- **Soliton SecureDesktopサービス スタートアップガイド**
- **SSDサービスのユーザーID、パスワード**
(ドキュメントポータルからダウンロードしたユーザーID一覧からユーザーに割り当てて使用します)
- **証明書配布サイト ホスト名** (アカウント通知書に記載されています)
- **SecureDesktop Center ホスト名** (アカウント通知書に記載されています)
- **ユーザーパスワード変更サイト URL** (アカウント通知書に記載されています)

付録：証明書の実効

付録：証明書の失効

以下の場合には、証明書の失効が必要です。

- 証明書を取得したデバイス（PC、スマートフォン等）を紛失し、証明書を無効化する必要が生じた場合
- 証明書発行枚数の上限（1ユーザーIDあたり5枚）に達し、不要な証明書を無効にして新たに証明書を発行したい場合
- 以前証明書を取得したことのあるデバイスに、所有者変更などにより別のユーザーIDで証明書取得する必要が生じたとき

※デバイス側で証明書を削除しただけでは、証明書発行数の情報は更新されません。

※本サービスのシステムでは、証明書取得したユーザーIDとデバイスの情報が紐づけられているため、別のユーザーで証明書を発行するには、以前発行した証明書を失効する必要があります。

証明書の失効をご希望の際はサポート窓口にご連絡ください。

- サポート窓口へのお問い合わせ方法は、アカウント通知書に記載されています。
- 証明書を失効したいデバイスのAPIDをご連絡ください。APIDは、Soliton KeyManagerで確認できます。
- デバイスの紛失などによりAPIDが分からない場合は、証明書発行を行った際のユーザーIDをご連絡ください。この場合、そのユーザーIDで発行したすべての証明書が失効されるので、使用継続したいデバイスで再度証明書を取得して頂く必要があります。
- 失効完了までに時間を要する場合があります（目安：1～3営業日）。完了時にご連絡いたします。

Soliton SecureDesktopサービス はじめにお読みください（管理者向け）

2020年5月5日 第3版

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-4-3

<https://www.soliton.co.jp/>

本書に記載されている情報、事項、データは、予告なく変更されることがあります。

本書に記載されている情報、事項、データは、誤りや落丁がないように最善の注意を払っていますが、本書に記載されている情報、事項、データによって引き起こされた遺失行為、傷害、損害等について、弊社は一切、その責任を負いません。

本書を弊社に無断でその一部、あるいはその全部を複写、複製（コピー）、追加、削除、加工および転載することを禁じます。